

安全な MRI 検査を考える会

協賛のお願い

- | | | |
|-----------------|---|--------|
| ・協賛企業・団体募集の趣旨 | … | Page 2 |
| ・会の概要 | … | Page 3 |
| ・会の目的と活動内容 会の沿革 | … | Page 4 |
| ・協賛企業・団体に関する規約 | … | Page 5 |
| ・協賛お申し込み用紙 | … | Page 6 |

一般社団法人 安全な MRI 検査を考える会



2019年12月

協賛企業・団体募集の趣旨

安全な MRI 検査を考える会は、MRI 検査室における事故の増加に危機感を抱いた診療放射線技師、装置メーカー関係者、コンテンツ制作者ら有志によって 2011 年 7 月に任意団体として発足しました。

最初に取り組んだのは理屈抜きで MRI 装置の磁場の怖さを体感できる DVD の企画、プロデュースでした。

MRI 検査室における事故を防止するには、医療従事者だけではなく、患者さんから清掃関係者まで MRI 室に入室するすべての方々への啓発が必要です。私たちは対象と用途に合わせて 4 種類の DVD を製作し「医療施設のための安全講習 DVD」として世に送り出しました。この DVD は日本画像医療システム工業会(JIRA)が販売窓口となり、これまでに 1,500 セットが全国の医療施設に納入され、検査の現場で活用されています。

次に取り組んだのは、検査担当者のための Q&A レスキューサイトでした。

私たちは日本磁気共鳴専門技術者認定機構(JMRTS)の全面的な協力のもと 2014 年 8 月、「MRI SAFETY FORUM」を開設しました。

検査の最前線から寄せられた質問とそれに対する回答は JMRTS によって精査され、データベースとして公開・運用されています。2019 年現在、このサイトのユーザー数は 5,000 人に達し、ページビュー数は、毎月 15,000 ビューを超えています。

2015 年 12 月、私たちは会を法人化し、ウェブサイトの新設しました。

この「MRI 安全 Web」によって、最近の事故のトレンドとその対策、新しい体内デバイスへの対応など、安全講習 DVD では伝えきれない最新の安全情報も発信できるようになりました。

一方、高磁場 MRI の全国的普及に伴い、MRI 事故は 2016 年を境に、再び増加に転じました。MRI 事故を未然に防ぐために、今再び、全国津々浦々への広範な啓発活動と、きめ細かい情報支援が必要になっています。

この危機に対応するために、私たちは 2020 年から新たに、「安全管理者のための MRI 安全ワークショップ」を、年一回、開催することを決定しました。また WebTV の「安全動画チャンネル」で、検査担当者を支援するための情報番組をシリーズ化していきます。

これまで会の活動は、安全 DVD の売上の一部を活動資金とし、すべてボランティアによって運営されてきました。活動の新たな広がり、メンバーの高齢化などもあり、今、会では財源も含めて持続可能な運営形態づくりが急務となっております。

つきましては、安全な MRI 検査を考える会の活動にご賛同いただける企業や法人・団体の皆様に、これからの諸活動に必要な資金の賛助および安全情報の提供をお願いする次第です。MRI 検査に関わるすべての方々の安全を守り、患者さんにとって有用な MRI 検査を実現するために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会の概要

名 称	一般社団法人 安全な MRI 検査を考える会	
所在地	東京都武蔵野市吉祥寺東町一丁目 12 番 8 号 〒180-0002 TEL 0422-28-7841 FAX 0422-20-1185 URL https://mri-anzen.or.jp E-mail safety@mri-anzen.or.jp	
設 立	2015 年(平成 27 年)12 月 17 日	
代表理事	井 司	社会医療法人高清会 高井病院 放射線科 技師長 日本磁気共鳴専門技術者認定機構 理事
	平野 浩志	社会医療法人抱生会 丸の内病院 診療技術部長
	石川 聡	株式会社 GROW 代表取締役
理 事	土橋 俊男	
	内田 幸司	医療法人江田クリニック みたかクリニック 日本放射線技術学会 理事
	山本 晃義	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院
事務局	平出 博一	日本画像医療システム工業会 安全性委員会委員
	鈴木宏和	

会の目的と活動内容

当法人は、安全で質の高い MRI 検査を実現するための活動を通して、国民の安全及び健康増進に寄与することを目的とする。この目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 医療関係者のための MRI 安全講習コンテンツの企画開発
- (2) 検査担当者のための Q&A レスキューサイトの運営
- (3) ワークショップによる安全管理者研修の実施
- (4) 被験者のための MRI 検査説明コンテンツの企画開発
- (5) 関連団体、企業との連絡及び協力
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

会の沿革

2011年7月	安全な MRI 検査を考える会 発足
2014年2月	医療施設のための MRI 安全講習 DVD 企画プロデュース 一般社団法人日本画像医療システム工業会（JIRA）より販売
2014年8月	検査担当者のためのレスキューサイト MRI SAFETY FORUM を開設
2015年7月	MRI 装置メーカー5社による第一回 MRI 安全・アプリミーティングを 主催
2015年12月	任意団体から一般社団法人 安全な MRI 検査を考える会へ
2016年1月	新たに法人 WEB サイト「MRI 安全 Web」を開設 第一回 WebTV シンポジウムを公開
2018年4月	MRI 安全講習 DVD の販売数 1,500 セット到達 法人 WEB サイトユーザー数 5000 人・ページビュー数 15,000/月到達
2020年2月	「MRI 安全 Web」リニューアルオープン（予定） 安全動画チャンネルで新たな情報番組をスタート（予定）
2020年6月	安全管理者のための MRI 安全ワークショップ開催（予定）

協賛企業・団体に関する規定

- 第 1 条 協賛企業・団体とは本会の目的に賛同し、本会の事業を支援する企業、法人、団体などとする。
- 第 2 条 協賛企業・団体は本会への協賛金として事業年度毎に一口五万円を納入するものとする。
本会の事業年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日と定められており、事業年度開始後の新規加入の場合、協賛金の額は同一とする。
- 第 3 条 協賛企業・団体は「安全な MRI 検査を考える会」公式ホームページにおいて協賛企業・団体名の表示およびリンクバナーを設定できる。
また、書面等により本会の事前承認を得た場合、本会が著作権を有する教材や各種ツール、広報資料等の転載が許可される。
参加初年度に、本会で制作した安全に関する DVD 等の最新版を 1 組受け取ることができる。
今後作成を予定している e ラーニングなど Web を活用した教材を利用できる。
- 第 4 条 本会は協賛企業・団体が次の各号に該当するときは当該協賛企業・団体に対し、事前に通知及び勧告することなく当該協賛企業・団体の資格を停止または解除できる。
- (1) 協賛金が新たな事業年度開始後 3 か月以内に支払われないとき
 - (2) 内外の諸法令または公序良俗に反する行為を行ったとき
 - (3) 本会、他の協賛企業・団体または第三者の商標権、特許権、意匠権、著作権、その他財産、プライバシーを侵害した場合またはそのおそれのある行為をしたとき
 - (4) 本会、他の協賛企業・団体または第三者を誹謗中傷する情報を流したとき
 - (5) 協賛申込書に虚偽の事項を記載したことが判明したとき
 - (6) 本会、他の協賛企業・団体または第三者の名誉または信用を失墜させる行為があったとき
 - (7) その他本会が協賛企業・団体として不適当と判断したとき
- 第 5 条 協賛企業・団体が前条の規定によりその資格を喪失したときは本会に対する権利を失うものとする。また、未履行の義務及び規則に定めがある場合は継続して義務を負うものとする。本会は協賛企業・団体がその資格を喪失した場合、既に納入した協賛金その他の拠出金品は返還しないものとする。
- 附則 この規定は、一般社団法人安全な MRI 検査を考える会 理事会の議決によって変更することができる。

2018 年 6 月 9 日制定

安全な MRI 検査を考える会

協賛申込書

年 月 日

一般社団法人 安全な MRI 検査を考える会 宛

一般社団法人 安全な MRI 検査を考える会の活動に対する協賛を申し込みます。

企業・団体名 :

ご担当者連絡先

・ご所属 :

・ご氏名 :

・ご住所 :

・電話番号 :

・メールアドレス :

今年度協賛金納入予定口数

【 】 口

※1口5万円、1口以上でご支援をお願いします

貴社名、貴団体名の当法人ホームページ等への掲載の可否

【 可・否 】

※どちらかに○をお願いします。

お申込み後に振込先などを連絡させていただきます。